

そほう
組報

多摩

No.12

組報 多摩 No.12
 発行日 2012年11月1日
 浄土真宗本願寺派
 東京教区 多摩組
 事務所/西照寺内
 東京都調布市若葉町1-39
 〒182-0003 TEL03-3300-7734
<http://www.tama-so.org/>

平成24年4月1日より 新役員で 多摩組スタート



教区会議員 西川 進
 (延立寺総代)



教区会議員 佐々木了宣
 門徒推進員連絡協議会部長
 (明西寺住職)



組長 酒井 淳
 (西照寺住職)



副組長 圓城知道
 キッズサンガ推進部部长
 (圓成寺住職)



副組長 細川真彦
 (覺證寺住職)



副組長 松本智量
 実践運動委員長
 (延立寺住職)

組長挨拶

多摩組組長 酒井 淳

今年度現代の課題に即応できる体制を目指し、本願寺と宗派の機構が改変され、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)が新たに策定されました。

この時期に藤本組長の退任を受け、多摩組組長としてご選出いただいたことに大変責任を感じております。多摩組は東京都西部の二十四の寺院と一布教所により構成されていますが、各寺と布教所の置かれた状況は一樣ではありません。また抱える課題も多岐にわたります。

しかし、その中で共通するものは、変化し続ける時代の中で、親鸞聖人がお示しく下さいましたお念仏のみ教えをお伝えしていくということでありましょう。

一人でも多くの方々にお念仏のお心にふれていただけるよう、新しい機構のもと各寺の皆様のお知恵をいただきながら、新たな行動に移してまいりたいと存じます。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。



仏婦研修部部長 佐々木瑞恵
(光源寺住職)



壮年研修部部長 藤原忠房
(誓願寺住職)

新役職者ご紹介
(順不同)



連続研修部部長 佐々木賢秀
(正善寺住職)



僧侶研修部部長 藤本 彰
(圓福寺住職)



総代研修部部長 伊東道雄
(長専寺住職)



会計 伊東寛之
(應善寺住職)



広報部部長 斯波孝浩
(光徳寺副住職)



厚生部部長 飯田修海
(仙川光西寺住職)

第9期連続研修会(連研)開講

本年10月より平成26年8月までの2年間にわたり、連続研修会を実施致します。

- 第1回 平成24年10月6日(土)
- 第2回 同 年 12月1日(土)
- 第3回 平成25年 2月9日(土)
-) (2カ月に1回)
- 第12回 平成26年 8月

12回の研修の後、本願寺の中央研修を受講して、門徒推進員になる事が出来ます。 **ー詳細は、各ご寺院へ！ー**

伊東組長から組長職を引き継ぎ、5年間にわたり組長を務めさせていただきました。

任期中は、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の諸準備に追われましたが、組内が一丸となって取り組むことが出来ました。昨年の大遠忌法要には、多摩組として三百有余人の団参を組んで法要に参拝出来ましたことは、良き思い出となりました。

また、昨年三月十一日に発生しました東日本大震災は、組内寺院にも大きな被害をもたらし、自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされたことでした。

様々なことがあった五年間でありましたが、組内の皆様のご尽力により無事任期を全う出来ましたことを、改めて御礼申し上げます。

組長の任期を終えて

多摩組前組長 藤本 彰

浄土真宗の救い

浄弘寺住職 内手弘充

ご門徒さんのところへ入仏法要に伺った時のことです。

「浄土真宗とは、どんな教えなのですか、どこがどんなふうにはほかの宗教とは違うのですか」というご質問がありました。

浄土真宗と他の宗教との大きな違いは、「願うことがない、祈ることがない、頼むことがない宗教ということです。いろいろなたたくさんの宗教がありますが、願うとか、祈るとか、頼むとかのない宗教は一つもありません。それが無いのが浄土真宗と他の宗教との最大の違いです。」と、答えました。

「じゃあどうするんですか、どうして救われるのですか」と言われましたので、浄土真宗の教えはあの中央にお立ちになっていらっしやる阿弥陀如来さまが私の方に願ってくださっているのです。「どうか助かってくれよ」「必ず救われにまかせよ」と、如来さまから私が願われているのが浄土真宗なんですよと、答えさせていただきました。

「そうしたら私はどうしたらいいんですか、私は何もなくていいんですか」と、言われましたので、「仏願ぶつがんの生起しよき本末ほんまつを聞く」といって、如来さまがどのように私を

救ってくださるかという理を聞かせていただくことです。それを聴聞といい浄土真宗の門徒のありようです。私のことはお見通しの如来さまが、迷いの凡夫を我が国（お浄土）に生まれさせ、必ずさとりに導きたいという、如来の救いのありつたけを聞かせていただき、お念仏せずにはおれない私が育てられます。

『歎異抄』第一条に「念仏申さんと思いたつ心の起るときすなわち撰取不捨の利益にあづけしめたまふなり」とあるように、この素晴らしい教えをいただいて、如来さまの願いを信じお念仏申させていただきながら、この一度しかない人生を力強く歩ませていただく日々を送れるのが浄土真宗です。死んでから幸せになるのではなく、聴かせていただいたその時から、お念仏申さずにはおれない私とならさせていたたくということだと思えます。



なぜ？なに？

Q&A

Q 「御同朋の社会をめざす運動」とは？

A 浄土真宗本願寺派では、一九八六

（昭和六十一年）年より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ、「基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）」を進めてきました。このたび、その成果を継承し課題を克服するため、運動名称を「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）と改め推進することとなりました。

宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中にあつて、ともにお念仏を喜ぶ仲間を「とも同朋」「御同行」と呼び、苦悩する人々とともに生き抜かれました。

私たちの先人はそのお心を受け、「御同朋・御同行」と互いに敬愛し、み教えをまもり広めていこうと努めてこられました。

「御同朋の社会をめざす運動」とは、いのちの尊さにめざめる同朋一人ひとりが自覚を深め、浄土真宗のみ教えを社会に広め実践していく活動です。



仏教壮年会

多摩組仏教壮年会連盟理事長

五味新悟ごみしんご

多摩組仏教壮年会連盟の活動

多摩組仏教壮年会連盟は、各寺院住職はじめ僧侶、門信徒の皆様のご理解とご支援をいただき、連盟綱領の「自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、ともにお念仏申す朋友の輪を拓げ、心豊かに生きる社会の実現」をめざして活動しています。

一、仏教壮年研修会の開催

昨年十二月十七日、調布市圓福寺に九十二名が参加して、総代世話人会と共催の仏教壮年研修会を開催し、筑波大学名誉教授今井雅晴先生より「親鸞聖人と関東布教」と題してお話しいただき、改めて聖人のご苦勞を偲びました。

本年度は十二月十五日、圓福寺に群馬組西蓮寺の艸香雄道師をお迎えして総代世話人会と共同開催します。ご法話の他、婦人会の布絵本公演を予定しています。

お誘いあわせてご参加下さいますようお願い申し上げます。

二、仏壯連盟理事研修会の開催

本年三月七日、仏壯連盟理事九名が群馬組西蓮寺に参拝し、艸香雄道師より同寺の仏壯、婦人会、子供会、ビハーラ等の教化活動全般についてお話しいただきました。

この他、婦人会の布絵本「しんらんさま」公演や相互交流会もあり、大変充実した研修会でした。

本年度は、十月二十五日に千葉組天真寺に参拝し、教化活動についてお話しいただき、同寺のご門徒との相互交流会を計画しています。

三、東京教区仏壯連盟

結成記念日研修会の参加

本年二月十八日、十九日、千葉組勝浦市に東京教区の仏壯会員二〇九名が参加して、東京教区仏壯連盟結成記念日研修会が開催されました。

多摩組からは十五名が参加しました。富山教区勝福寺の藤島秀天師の記念法話、千葉組中原寺、西方寺、天真寺の活動報告の後、相互交流会に参加しました。

本年度は、来年二月二十三日・二十四日に箱根湯本で開催される計画です。

総代世話人会

多摩組総代世話人会代表

つちだ よしゆき
土田良幸



前任の圓成寺総代井上雅晴氏が病氣治療に専念したいとの事で、八月十八日の総代世話人実行委員会にて、残任期間の来年三月末まで、後任に就くことになりました、浄弘寺総代、土田良幸です。

初めての事ばかりで戸惑いばかりですが、皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力を頂き、後任を務め終えたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

多摩組総代世話人会の今季残りの予定と致しましては次の通りです。

東京教区第二回門徒総代連絡協議会

(於築地本願寺 八月二十五日開催)

東京教区第三回門徒総代連絡協議会

(於築地本願寺 十二月十三日開催)

多摩組総代世話人研修会開催

(於圓福寺 十一月十五日開催)

今年度の多摩組総代世話人研修会は、昨年同様、仏教壮年会との合同で十二月十五日に開催する事を決定致しました。

お誘いあわせてご参加下さい。



仏教婦人会

東京教区仏教婦人会連盟多摩組代表

磯川 歳子
いそかわ としこ



この度、多摩組の代表として東京教区仏教婦人会の役を勤めさせていただきました、大恩寺の磯川歳子です。

両親を送った時、お世話に成ったのが縁でお寺にお参りするようになりました。お寺で皆でお経をあげ、ご法話を聴き、お茶をいただいていたの帰り道は、何か心が軽くなります。

先日は築地本願寺での婦人会の総会で、初めて大勢の参加者の受付をやらせていただきました。今まで自分も何回もこの受付を通っているのですが大変感動しました。この場を選んでいただいた事に感謝しています。

これからダーナの係を受け持ち、アソカ病院でのボランティアも経験させてもらいます。わからない事ばかりでドキドキしていますが、一生懸命勤めたいと思います。よろしくお願い致します。

門徒推進員協議会

門徒推進員協議会世話人

麻木 純三郎
あさぎ じゆんざぶろう

多摩組門徒推進員協議会のメンバーは、昨年の時点では十一名でしたが、新たに五名の方が加わり十六名となりました。

圓成寺の宮嶋さん、能願さん、井上さん、誓願寺の植田さん、浄弘寺の土田さんです。その他、一人の方が中央研修を受講される予定です。

活動状況を報告します。

(1) 読書会の継続

「正信偈を読む」（靈山勝海師）の読書会は三月に終了し、新年度より「高校生からの仏教入門・釈尊から親鸞聖人へ」（小池秀章師）をテキストに、開始しました。初心に帰って仏教を学び直そうという企画で、皆さん熱心に参加しています。また、読書会の前に「お勤め」をしますが、その後で「拝読浄土真宗のみ教え」を全員で唱和しています。

(2) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要への参加

毎年九月十八日、多摩組門徒推進員協議会として参加しています。今年も有志の方が参加しました。

(3) 東京教区門徒推進員協議会

一泊研修会への参加

教区内の門徒推進員を対象とした一泊研修会を毎年実施しています。

今年は九月二十九日～三十日、静岡西組の担当で、教覺寺（静岡市）を会場に実施され、約五十名が参加しました。一日目は、「私の歩む道」と題して、南莊宏師（教覺寺住職）が講義を行いました。続いて静岡西組の門徒推進員の活動報告、教覺寺の境内見学の後、会場を移して懇親会が開催されました。初めての人もすぐに打ち解けて話が出るのが、この研修会の素晴らしいところですよ。

二日目は、お朝事のあと、連研ノートTOKYOによる模擬連研。テーマは「平和について」、講師は松本智量師（延立寺住職）。各班ごとに活発な話し合いを行い、改めて連研の魅力を実感しました。

(4) 多摩組連続研修会の支援・協力

盛況に終わった「第八期連続研修会」を受けて、「第九期連続研修会」が十月六日よりスタートしました。前回に続いて、門信徒推進員のメンバーは、裏方としてスムーズに運営されるよう、役割を分担活動中です。



中ブロック門徒子弟研修会 サマーキャンプ in あさぎ

本年は、八月二日から三日の一泊二日、富士宮市朝霧高原にある「ふもとつばら」をメイン会場に、開催いたしました。

参加の小学生は十七名、OB・OGの中学生から大学生を含め、スタッフ三十四名の合計五十名での開催となりました。

まずは、圓福寺様にて、新門さまのご臨席のもと、開会式です。リピーターの子供たちは、讃仏偈のお勤めや、真宗宗歌に、

一生懸命声を出して、一生懸命声を出してくれていました。

その後、バスで朝霧高原へ移動、昼食後は、広大な「ふもとつばら」探検です。この裏山は、江戸時代に

金山だったこともあって、金も含まれた石が落ちています。また、防災用の川

にかかったつり橋では、スタッフが汗をかきながら揺らすので、子供たちは

大はしゃぎでした。夕食は、恒例のバーベキューを、班ごとに火を囲み、みんなで焼きながら、お腹一杯いただきました。

夕食後は、キャンプファイヤーで歌ったり踊ったり。一日たっぷり遊んだので、子供たちはいつになく、ぐっすり眠っていました。

翌朝のおあさじは、今回も調声を、子供たちにやってもらいました。開会式同様、一生懸命、お勤めしてくれていました。

朝食後、この日の活動は、「アローヘリコプター」づくりです。「ふもとつばら」のスタッフの方に指導していただきながら、ヘリコプターを作り、パチンコの要領で空へ飛ばします。なにせ、広い「ふもとつばら」、みんな思う存分、楽しんだ様子でした。

昼食後、富士吉田市の正福寺様へ移動し、閉会式です。お勤めの後、ご住職様のご法話をいただき、修了証やお土産を受け取り、閉会です。

その後は一路、調布へ向かいました。多少、渋滞もありましたが、無事、圓福寺様へ到着し、解散。

いろいろな学年と班を作り、短い間ですが、一緒に過ごすことで、自然と上の学年の子が下の学年の面倒を見たり、はじめは不慣れなお勤めも帰るころには、上手にできるようになったり、有意義な二日間だったのではないのでしょうか。

リピーターも多いので、また来年、子供たちの笑顔を楽しみに、企画を考えたいと思います。

(圓城)



富士山の麓に全員集合



正福寺本堂前で



飛べ！アローヘリコプター



つり橋の真ん中でヤッホー！

住職に聞きました

お寺を訪ねて

光源寺(調布市西つつじヶ丘)

今回お訪ねした光源寺は、京王線つつじヶ丘駅北口から徒歩十二〜十三分の高台にあります。

境内に入ると正面には立派なご本堂とホールが併設され、敷地の一番奥に墓地があり、お墓参りの際には、ご本堂にお参りし易いように配置されております。



佐々木瑞恵住職(右)と副住職

光明山光源寺は、山城国愛宕郡下京東の坊住職・佐々木専祐師により、元和元年(一六一五年)江戸浜町に創建されました。その後明暦三年(一六五七年)の大火(振袖火事)にあい、本願寺別院移転に伴い、築地に寺中寺院として再建されました。そして大正十二年(一九二三年)九月一日の関東大震災によりすべて消失しましたが、昭和三年(一三二八年)五月、東京市の区画整理に伴い、東京府北多摩郡神代村金子向台一二三〇番に移転しました。

先の建物は建築時より五〇年以上経過し、コンクリートの劣化が激しいので、開基四百年記念事業として昨年改修工事を実施し、本年五月二十七日親鸞聖人七百五十回大遠忌法要、開基四百年本堂・客殿落成慶讃法要を併修され、荘厳なご本堂が完成しました。

現住職佐々木瑞恵師は十五代目にあたり、多摩組でも数少ない女性住職で、十四世・香里師(母上二〇〇〇年九月ご往生七十九才)の跡を継職して十二年目になります。

この間、平成十二年(二〇〇〇年)門信徒会を設立し、一月の新年会から始まり十一月の報恩講法要まで、諸法要・法話会を二ヶ月に一回開催し、「門信徒会だより」を二ヶ月に一回発行。

その他に、納涼寄席・コンサート・団体参拝(日帰り)・編み物カフェ・忘年会や副住職(ご主人)のご指導で門信徒向けのお経の勉強会を毎月開催し、共にお寺の維持・発展に務めておられます。



落成の本堂

又、瑞恵師は、父上(十三世麟定師)が胃がんでの闘病生活・往生を目の当たりにした体験から、死を目前にした人から学ぶことの大切さを思い、一九八八年より築地本願寺でビハークラ活動を行っています。

光源寺のこれからの活動は、開基四百年記念事業の推進を通して深まった門信徒との絆を大切に、「開かれたお寺」を目ざして活動していきたいと抱負を語られました。これからも佐々木ご住職・副住職のますますのご活躍とお寺の発展を念じながら、光源寺をあとにしました。

西本願寺 (京都・本山)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

電話 075(371)5181

FAX 075(351)1211

築地本願寺・東京教区教務所

〒104-8435 東京都中央区築地3丁目15番1号

築地本願寺電話 03(3541)1131

教務所電話 03(3541)1666

東京教区多摩組寺院所在地

調布市

光徳寺 (こうとくじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-38-27
TEL03(3300)6431 FAX03(5384)3344
(法座:不定期 お問い合わせ下さい)

明西寺 (みょうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-43-5
TEL03(3300)1901 FAX03(3300)2681
(法座:10日前後婦人会 1.4.8月壮年会)

延浄寺 (えんじょうじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-1
TEL03(3326)7337 FAX03(3326)5037
(法座:不定期 相談日第1日曜日午後予約)

長専寺 (ちょうせんじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-4
TEL042(482)3411 FAX042(498)1105
(法座:不定期)

西照寺 (さいしょうじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-39
TEL03(3300)7734 FAX03(3300)7794
(法座:毎月8日・第4土曜 親鸞会)

光西寺 (こうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-2
TEL03(3300)5054 FAX 同左
(法座:不定期)

光源寺 (こうげんじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-11
TEL03(3300)0881 FAX03(3308)6289
(法座:隔月奇数月 お問い合わせ下さい)

覺證寺 (かくしょうじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-5
TEL042(482)5556 FAX042(480)0166
(法座:第1土曜日 聖典学習会 月1回)

正善寺 (しょうぜんじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-42-5
TEL03(3300)6064 FAX03(3300)6687
(法座:第1日曜日 (1日なら8日))

安養寺 (あんようじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-5
TEL03(3307)5605 FAX03(3307)5496
(法座:第1日曜日)

圓福寺 (えんぶくじ) 〒182-0022
調布市国領町1-10-11
TEL042(482)7955 FAX042(481)4734
(法座:不定期)

国立市

應善寺 (おうぜんじ) 〒186-0002
国立市東2-2-1
TEL042(572)0043 FAX042(572)0148
(法座:毎月1日・16日)

立川市

光西寺 (こうさいじ) 〒190-0021
立川市羽衣町3-20-16
TEL042(522)3413 <http://www.kousaiji.com/>
(法座:毎週金曜晚又は土曜昼 各種仏教講座)

小平市

照恩寺 (しょうおんじ) 〒187-0041
小平市美園町3-23-20
TEL042(341)2935 FAX042(347)4122
(法座:毎月13日・第1土曜・第4土曜)

青梅市

浄弘寺 (じょうこうじ) 〒198-0036
青梅市河辺町8-19-8
TEL0428(32)1769 FAX0428(32)2010
(法座:第3土曜日)

八王子市

専念寺 (せんねんじ) 〒192-0063
八王子市元横山町2-14-24
TEL042(644)3491 FAX042(648)6087
(法座:隔月1回 お問い合わせ下さい)

誓願寺 (せいがんじ) 〒193-0816
八王子市大楽寺町209-5
TEL042(651)0073 FAX042(651)6183
(法座:第3木曜日・毎月10日大楽の集い)

光照寺 (こうしょうじ) 〒192-0912
八王子市絹ヶ丘3-8-1
TEL042(635)3754 FAX 同左
(法座:不定期)

本光寺 (ほんこうじ) 〒1923-0832
八王子市散田町4-40-10
TEL042(664)2196 FAX042(663)2501
(法座:仏教講座 第3金曜日)

延立寺 (えんりゅうじ) 〒193-0802
八王子市犬目町681
TEL042(654)2429 FAX042(654)6930
(法座:第4月曜日)

大恩寺 (だいおんじ) 〒193-0943
八王子市寺田町1085
TEL042(668)0889 FAX042(668)1825
(法座:第2土曜・第4日曜・第1土曜(婦人会))

町田市

圓成寺 (えんじょうじ) 〒194-0004
町田市鶴間1210
TEL042(795)0181 FAX042(795)0444
(法座:毎月28日)

(えんじょうじしゅっちょうしょ)
圓成寺出張所 〒194-0035
町田市忠生3-24-13
TEL042(792)3007 FAX042(792)3006
(法座:毎月10日 休日なら翌日)

(まちだふきょうしょ こうげんじ)
町田布教所 高源寺 〒195-0063
町田市野津田町2534-20
TEL042(737)3236 FAX 同左
(法座:第2土曜・23日前後の平日)

多摩市

阿弥陀寺 (あみだじ) 〒206-0013
多摩市桜ヶ丘1-24-2
TEL042(375)8055 FAX042(337)4889
(法座:年3回・毎月28日 明宝会・毎月15日前後
極楽トンボ会)

稲城市

玄忠寺 (げんちゅうじ) 〒206-0822
稲城市坂浜878-6
TEL042(331)3655 FAX042(331)3511
(法座:第3日曜日)

(法座へお出かけの折には、必ず電話にて日時をご確認の上、お出かけ下さい。)